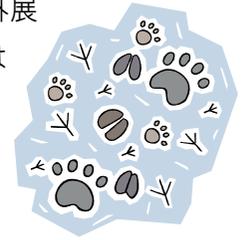


石神の丘美術館通信《いしば》

ishibi

2008.2.1 Vol.64

一年で一番寒い季節。一面真っ白の屋外展示場に太陽の光が差し込む様子は、この季節ならではの美しさがあります。屋外展示場の雪の上には動物の足跡も。カモシカ? ウサギ? それとも…???



さて、企画展示室では、2月5日(火)から、美術館収蔵作品(コレクション)によるテーマ展「色を感じてみよう—美術作品から知る色彩効果」が始まります。日常生活に欠かせないものでありながら、深く接する機会が少ない「色」。この展覧会では、画面上に用いられている色や配色の種類に沿って作品を分類展示し、当館の収蔵品を通して色が持つ性質や色を与える印象などについて紹介します。あなたは何色が好きですか? その色は作品のなかではどのように使われているのでしょうか? ぜひ、展示を見ながら「色」について考えてみてくださいね。

ホールでは、今年度に当館で開催した展覧会ポスターを紹介します。また、展望デッキは、冬の日差しでポカポカと暖かく、眺めも良いので絵本を読んだり、お茶を飲んだりとゆったりと過ごすのにも最適です。美術館で気分をリフレッシュしてみませんか。2月10日と3月2日には、ホールで「手づくり講座」を開講します。昨年人気だったこの講座、今年は、「フェルティング」と「豆巻物」に挑戦します。みんなで手づくりを楽しみましょう。

平成 19 年度 石神の丘美術館コレクション展

**色を感じてみよう** —美術作品から知る色彩効果

会 期: 2008年2月5日〔火〕～3月9日〔日〕

開館時間: 午前9時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

休 館 日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)

観覧料金: 一般200円/大・高生100円/中学生以下無料

# アートサイト

## 美術館の課題

職業柄、さまざまな美術雑誌や専門書を読むことが多いが、特に雑誌を読んでいて感じるのには、最近の美術界は元気がないのではないかと、という印象である。

友人にそのことを話すと、やはり同じ意見だった。なぜ元気がないのかというと、思い通りの美術活動をするには、あまりにも予算が少ないということが最も大きな要因で、ほかに諸物の値上がりや響いているという点でも意見が一致した。

その原因や背景をすべて政治のせいにするのは、一番便利で安易なことだが、ほかに、美術館が二十年前に比べ、大幅に増えたため、作品を他の美術館か

ら借用する際、他館との競合が起きて内容の変更を迫られることもありうるのである。また人気がある作品の貸し出しが増えると、所蔵する館の運営に影響がでるなどといったことがあつて、私立の美術館などでは貸し出すところもあると聞く。そのために展覧会の内容が、画竜点睛を欠くことになるのでは、鑑賞者の動員にも影響を及ぼすことになりかねない。

最近では、従来通りの企画展ができず、館蔵品展を開いて、企画展を減らしている美術館も見受けられる。美術館の入館者を増やしたいという思いは、どの館も同じである。しかし、予算がすくなく思い通りの展覧会活動ができないと悩んでばかりでは、打開にならない。そこで学芸員を中心とする館関係者の知恵と工夫が必要にな

互補充しながらの巡回展共催や、貸し出しする館が輸送費を持って多くの美術館の所蔵作品を借りられるような仕組みを作るなどの制度を設けることを考えてもいいのではないだろうか。そうしたやり方をしていく館が既にあるのかもしれないが、いずれ企画展をもっと開催しやすくする方法や内容についての検討は必要ではないだろうか。

特にサービスの面での工夫は、まだまだいろいろありそうに思う。これからは、入館料と売品をセットにするとか、同じ展覧会を二回以上鑑賞した場合は、ポスターをサービスするなど、展覧会そのものの魅力と同時にサービスの魅力も考える必要がありそうである。

(芸術監督・六岡 康光)

# 色を感じてみようー美術作品から知る色彩効果

会 期：平成20年2月5日（火）ー3月9日（日）

日常生活を取り囲むたくさんの色。あなたは何色が好きですか？  
私たちは普段何気なく色に接していますが、色は見る者に対して様々な連想や感情を呼び起こし、心理的效果を及ぼします。下の作品をご覧ください。



それぞれの作品に使われている色からは、違った印象を受けるはず。硬い感じがする作品はどれですか？ 力強い感じを受けるのは？ 涼やかな感じがするのは？ 見ていて安らぐのは？

また、一つの色が持っている性質だけではなく、色が組み合わせられることによって派手に見えたり、優しげに見えたり、賑やかに見えたり、穏やかに見えたりと、より多彩な印象を与える効果もあります。



どの色からどんな印象を受けやすいのか、どのような組み合わせがどのような心理的效果を与えるのか、当館の収蔵作品を通してお楽しみ下さい。

## 美術館ホールでは2つの小さな展示会が開催中です

★今年度当館で開催した展示会のポスターを展示・紹介し活動を振り返る★

### 「石神の丘美術館 展示会ポスター展」

★来館した方に切り紙で雪の結晶をつくっていただき、ガラス窓に展示する★

### 「世界にひとつだけの雪」

どちらも観覧・参加無料です。眺めの良い展望デッキもありますよ。

## みんなで一緒につくろう！ 手づくり講座参加者募集

\* 2月10日(日) フェルティングでつくるメッセージタグ

\* 3月2日(日) 豆巻物(まめまきもの)をつくろう

羊毛や毛糸を専用の針で刺してメッセージタグをつくる講座と忍者が持っていたかのような手のひらサイズの小さな巻物をつくる講座を行います。一緒に手づくりしませんか。

日時：2月10日(日)【フェルティング】  
3月2日(日)【豆巻物】 各回とも 13:30～15:30  
場所：石神の丘美術館ホール  
材料費：各回とも 500 円  
募集人数：各回とも 10 名(予約優先・先着順)  
※お子さんは大人の方と一緒に参加してください※2/10の回は小学校高学年以上向きです※参加を希望する方は、美術館受付に直接または電話で申し込みください  
【石神の丘美術館 TEL/ 0195-62-1453】



## 美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」TEL0195-61-1600まで

### 産直おすすめ 郷土の食卓

## 寒い季節のお楽しみ

「凍み豆腐」、「凍み大根」、「はれ菜」・・・産直には、寒い季節ならではの食材がそろっています。煮汁をたっぷり含んだ「凍み豆腐」や「凍み大根」、冬の定番「はれ菜汁」はホットする美味しさです。よ。



保存食として、また冬場の野菜不足を補うため大切にされてきた郷土の味。季節や地域を問わず、なんでも手に入るようになった今だからこそ、改めて私たちの地域や風土に根ざした食材や食べ方を見直し、継承していきたいものですね。

### Restaurant Ishigami-no-oka

## 冬のコース料理



〈食前酒 or ソフトドリンク〉〈オードブル〉葉彩鶏のグリル〈スープ〉ズワイガニのロワイヤル

〈魚料理〉スズキと黒肉豆腐のベニエ 〈肉料理〉やまと豚のロールキャベツ 〈サラダ〉〈パン or ライス〉〈デザート〉春みどりのロールケーキと南瓜のアイスクリーム 〈コーヒー or 紅茶〉 円 3,150 (税込)

コース料理は、完全ご予約制となっております  
ご予約・お問合せは、上記電話番号まで



2月12日(火)～24日(日)  
10:30～15:00まで

お食事の方はサラダ食べ放題